



「1学期教育活動アンケート」の数値結果についてお知らせします

7月に実施した「教育活動アンケート」への御協力ありがとうございました。調査結果をまとめましたので御報告します。

【数値結果】

	質問項目	対象	R4/7	R4/12	R5/7	順位
1	学校が楽しい	児童	70	65	63	
		保護者	58	57	57	③
2	みんなで何かするのは楽しい	児童	81	78	76	③
		保護者	68	65	64	②
3	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	児童			56	⑤
		保護者			21	①
4	授業に主体的に取り組んでいる	児童	60	53	56	⑤
		保護者	34	35	32	④
5	授業がよく分かる	児童	58	56	55	④
		保護者	22	20	21	①
6	友達と関わりながら授業に参加している	児童	72	74	69	
		保護者	40	39	38	
7	先生や友達の話をしっかり聞いている	児童	74	76	71	⑥
		保護者	35	32	32	④
8	先生や友達に自分の考えを伝えている	児童	58	60	54	②
		保護者	23	24	24	③
9	自分にはよいところがあります	児童	61	61	57	
		保護者	29	31	31	
10	友達のよいところを知っている	児童	78	84	77	②
		保護者	45	46	46	
11	思いやりの気持ちをもって生活している	児童	65	68	64	
		保護者	46	47	48	
12	学校のきまりを守って生活している	児童	72	66	63	
		保護者	53	54	51	④
13	体を動かすことが楽しい	児童	78	77	75	④
		保護者	65	61	65	①
14	食べ物に興味を持って給食を食べている	児童	58	58	58	
		保護者	42	44	44	
15	安全に登下校できるように気を付けている	児童	81	79	79	①
		保護者	49	51	51	④
16	学校や登下校中に地震が起きたとき、どのように行動すればよいか分かっている	児童	77	74	69	
		保護者	32	31	34	
17	自分のよいところやがんばっていることを、先生はほめたり認めたりしてくれる	児童	63	63	65	
		保護者	45	46	42	
18	家庭学習に自分から取り組んでいる	児童	55	54	54	②
		保護者	32	29	33	⑥
19	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている	児童	61	61	61	
		保護者	40	38	38	
20	家の人と将来のことについて話すことがある	児童	55	52	52	①
		保護者	42	41	42	
21	学校に信頼できる先生がいる	児童	77	77	74	⑤
		保護者	42	44	41	

<順位欄>白丸数字は数値が高かった項目、黒丸数字は数値が低かった項目です。

※裏面に続き

【分析考察】

①ステージ制のめあてを意識して生活する

【取組】

本校では昨年度より、2～3か月単位で【ステージ制】を導入しています。昨年度は、「知」「徳」「体」で1つずつめあてを掲げていましたが、めあてが多くて意識が拡散してしまうという懸念から、1つに絞って一点突破していくこととしました。

◇4～5月「新しい友達や先生のことをたくさん知ろう」

「北小スタディ」(朝の15分学習)や学級活動の時間に、全校一斉に「人間関係づくりのエクササイズ」に取り組み、友達のよさや新たな一面を見つける機会を増やしました。

◇6～7月「話している人の方を向いて反応しながら聞きます」

「北小スタディ」(朝の15分学習)の時間には、昨年度に引き続き、全校一斉に「聞くスキルトレーニング」に取り組みました。



【成果と課題】

設問10「友達のよいところを知っている」の数値が高い水準を維持しています。一方で、設問9「自分にはよいところがあります」の数値は高くありません。お互いのことを知り相互理解を深める中で、自分のよさにも気付ける働きかけが必要と考えます。

袋井あやぐも学園(袋井中学校区)で最重要事項に掲げている「ボイスシャワー」も大事にし、設問17「自分のよいところや頑張っているところを、先生はほめたり認めたりしてくれる」の実践に立ち返っていきたいと思います。

袋井あやぐも学園でも、「聞く姿勢」を最重要事項に掲げています。授業中に友達の考えをしっかりと聞くと、自分の考えが広がったり深まったり高まったりすることを実感できるように働きかけています。設問7「先生や友達の話をしっかりと聞いている」の数値が高い水準を維持しています。

一方で、設問8「先生や友達に自分の考えを伝えている」の数値は低くなっています。「聞く」と「話す」は一体と言えます。11～12月は「考えを出し合い、意見をつながげながら話し合います」をめあてに掲げています。「話すスキルトレーニング」などを取り入れながら、話す力を高めていきます。

②学習内容の理解・定着につなげる

【取組】

児童・保護者ともに、設問4「授業に主体的に取り組んでいる」、設問5「授業がよく分かる」、設問18「家庭学習に自分から取り組んでいる」の数値が低いことを課題として捉えています。学習面を重要視しているからこそその結果と言えるかもしれません。

◇基礎学力の底上げを図る

「北小スタディ」(15分学習)の時間を昼休み後から朝の会後に変更したことによって、短縮日課の影響を受けることなく、毎日確保できるようになりました。<R4年度 78回⇒R5年度 118回>

1・2年生は、市全体で英語教材にも取り組んでいます。

◇学習のまとめ・振り返りを書く時間を設定する

授業のめあてや問題に対する「まとめ」(大事なポイント)を、できるだけ自分の言葉で書いたり、分かったことやまだ疑問に思っていることなどを「振り返り」として書いたりする時間を確保するようにしています。



【成果と課題】

「北小スタディ」では、昨年度まで国語に限定して漢字などの基礎学力向上に取り組んできました。本年度は、算数を新たに増やし、計算などの基礎学力向上にも取り組んでいます。

学習の終わりに「まとめ」や「振り返り」を書く時に、友達の考えや意見を取り入れたり、聞いて「なるほど」と思ったことを感想にまとめたりすることを重点にしています。理解状況を自分自身で振り返ることにより、「できた」「わかった」という実感や、内容理解につながっていきます。1時間の授業で、<めあて→自分の考え→全体での話し合い→まとめ・振り返り>を完結させるのが難しいことがあります。ひとまとまりの学習内容ごとには、まとめ・振り返りの時間を確保していきたいと考えています。

また、高学年では中学進学を見据えて、あらかじめテストの期日を知らせ、テストに向けた自主学習に取り組むことを奨励しています。特に、6年生の自主学習ノートをお手本として紹介すると、刺激を受けて効果的でした。継続して取り組み、自主学習のレベルアップを図っていきます。

本年度から、制限をなく全校児童が昼休みに運動場で遊べるようになりました。設問13「体を動かすことが楽しい」の数値が高くなっています。10月の運動会は、全校開催・徒競走かリレーの実施を視野に、準備を進めていきたいと考えています。